

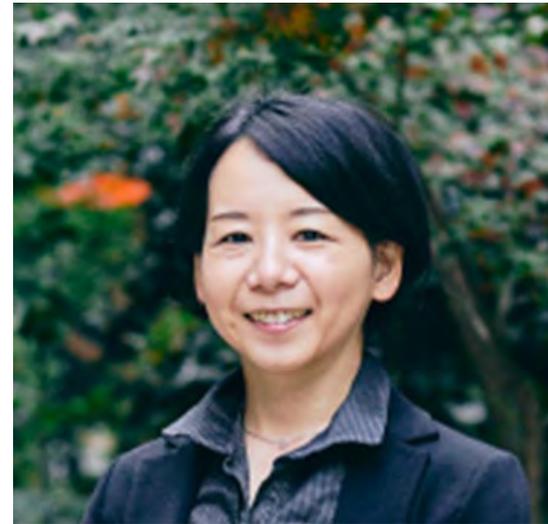


農業×ANY=HAPPY



自己紹介

1998年	東京大学農学部卒業
1999年	イギリス Cranfield Univ. 修士号取得
同年	NASA 植物工場のプロジェクトに参画
2000年	キヤノン株式会社 SOC検証部隊配属
2001年	産業機械メーカーにて産業用ロボット研究開発
2009年	株式会社エムスクエア・ラボ設立
2021年	内閣府 男女共同参画 チャレンジャー賞受賞
現在	株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役 やさいバス株式会社 代表取締役 静岡ガス株式会社 社外取締役 株式会社良品計画 社外取締役



社会貢献

R3年11月～

デジタル田園都市国家構想会議 委員

R4年8月～

中部圏広域地方計画有識者会議委員

R5年3月～

内閣府知財戦略本部 委員

H29年8月～R2年10月

静岡県教育委員会委員

H29年7月～R5年10月

食料・農業・農村政策審議委員

MISSION

持続可能な社会を次世代へ

VISION

**コミュニティベースドデザインにより、
モノと価値が循環する仕組みと仕掛けを
創造し続ける。**

課題解決から事業創造へ



やさいバス

分散型流通システム 2017創業
Local OS

Smart Village OS

やさいバス

やさいバス倶楽部

共創チーム 2023創業
一般社団法人（非営利）

AgriTech

Smart Village Labo



ベジラボ

土耕ハウス16棟
土耕3反程度 2016

和泉市アグリセンター

人材育成



ワンストップ相談所 2022.7~

Glocal design school 2018創業
起業家育成 ジュニアビレッジ



Mobile Mover
ロボット台車

農業IoT各種
Measure Links

流通



やさいバス株式会社

誰もが“おいしい”食にアクセスできる社会を目指して

農業×ANY=Happy

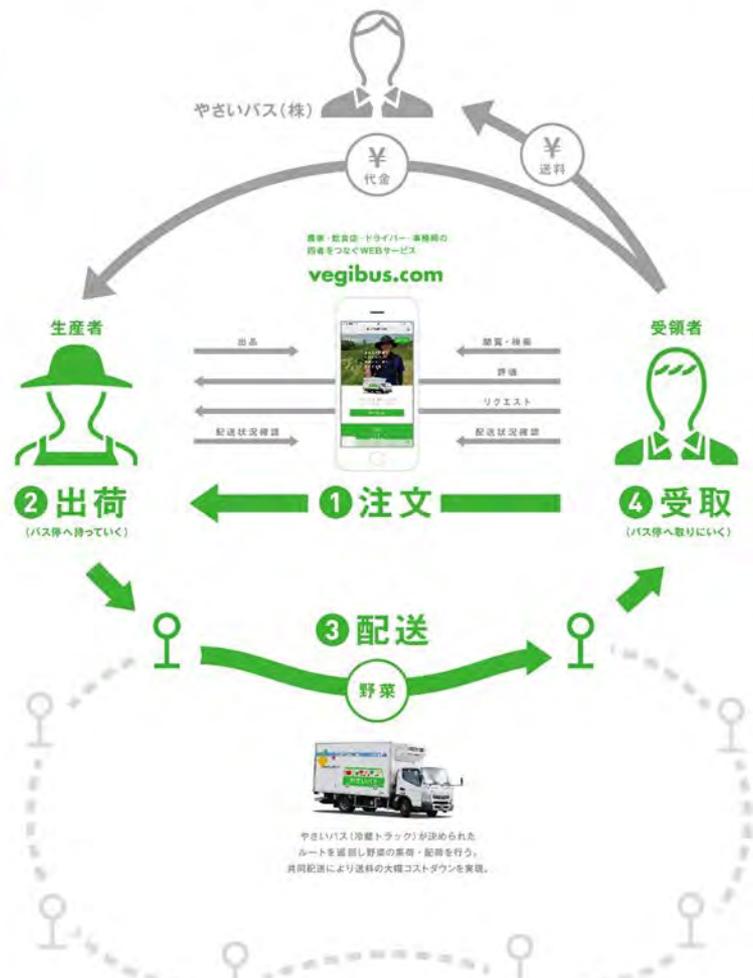
やさいバス 野菜でつながる「おいしい」物流サービス

生産者のメリット

- ✓ 販路が拡大する
- ✓ シェフのニーズがわかる
- ✓ 配送の手間が減る

受領者のメリット

- ✓ 新鮮な野菜が届く
- ✓ 生産者から直接買える
- ✓ 仕入れコストが削減

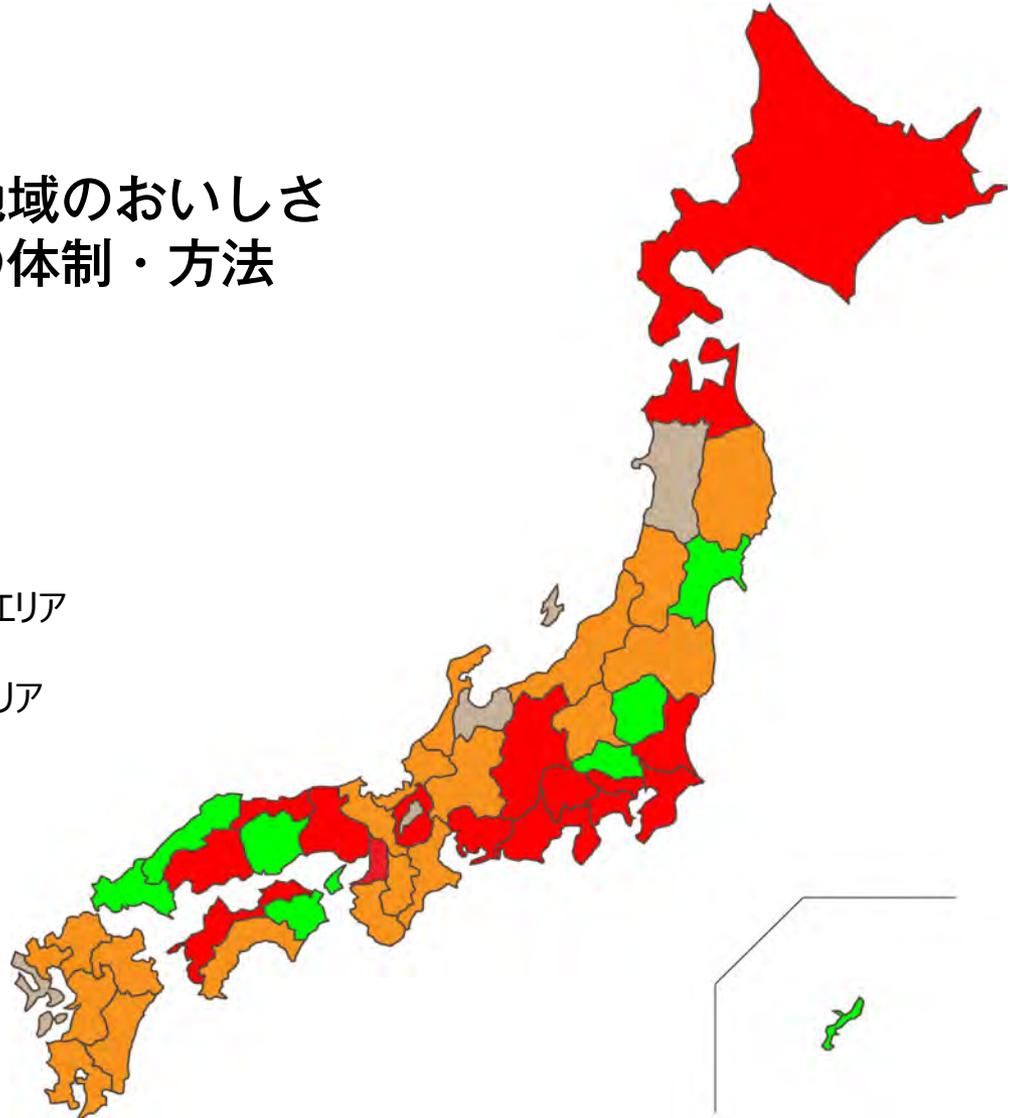


EC+共同配送を一体型としてシステムをコミュニティと共に地域実装していきます。合言葉は「無理なく」「美味しく」「楽しく」

やさいバス展開地域

みんなで作る地域のおいしさ
地域それぞれの体制・方法

-  展開済エリア
-  立ち上げ準備中エリア
-  問い合わせありエリア



小売店舗での展開



リンクスベイトウン店



イオン鴨川店



BLANDE (カスミ)



マルナカ北条店



NewDays幕張店



そごう広島店 (直営)

やさいバスサークルで コンビニと惣菜事業者とでアップサイクル

ファミリーマート北医大店で売れ残った野菜をルート上にある惣菜事業者が購入。お弁当としてファミリーマート横の販売店で販売。届く時間が決まっているため、すぐに完売。



SA-LABO

ファミリーマート北医大販売店

広島は貨客混載！

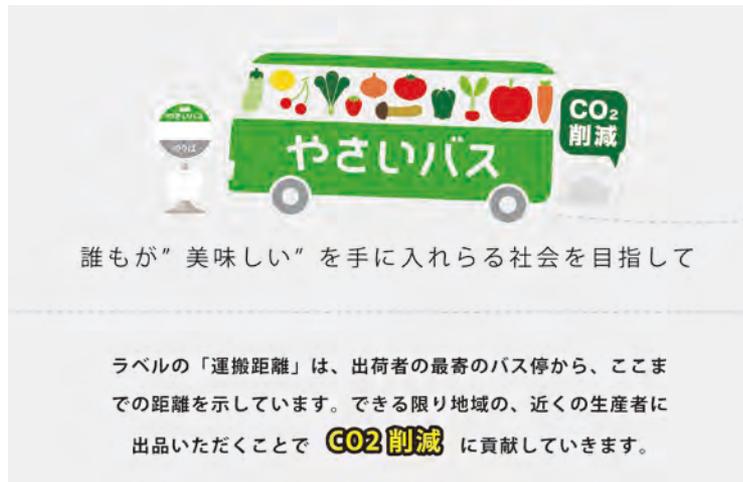


やさいバスDX

距離表示をJANへ、POPへ



セブンアンドアイESG監査でも好評



https://www.7andi.com/sustainability/g_challenge/action/co2_20220128/index.html

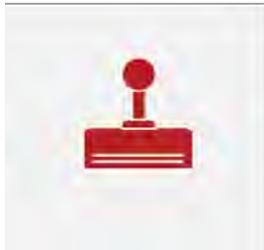
農作業

相棒とよばれたい

防除・除草・乗用など農業や農村で相棒となるために育成中。

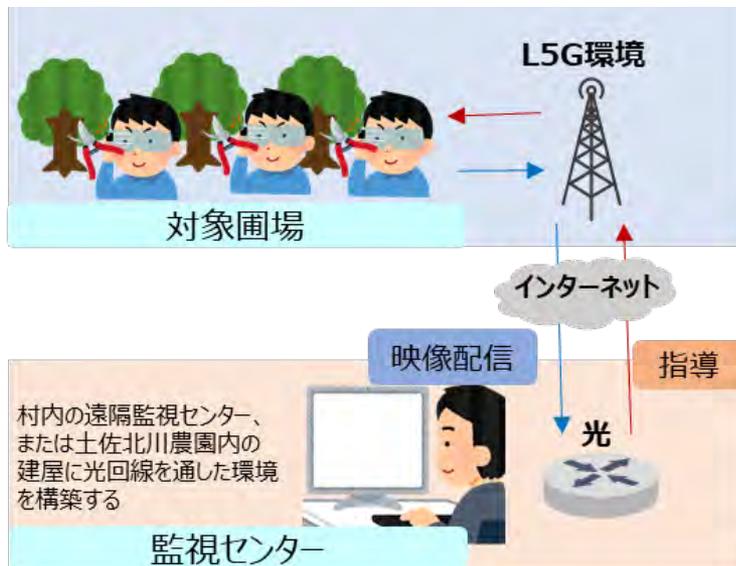
- ✓ 自動走行
- ✓ 遠隔操作

操作方法



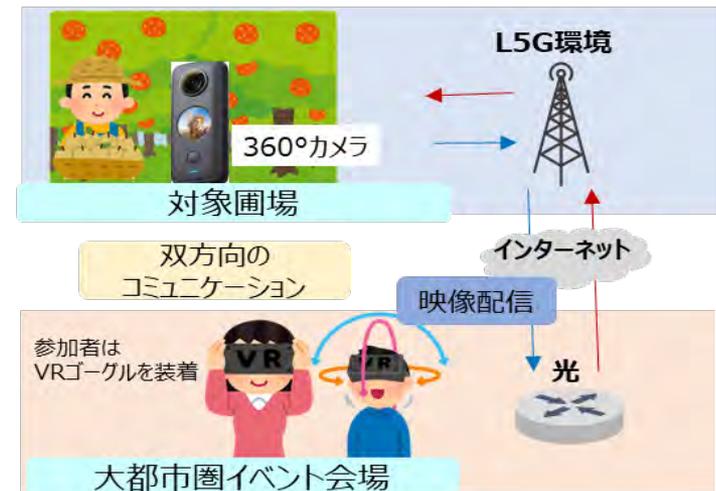
遠隔指導システム概要

「遠隔指導システム」では、圃場でスマートグラスを装着した複数の若手就農者が、ローカル5Gを経由して光回線と接続された監視センター内にいる熟練の指導者から遠隔で指導を受けられる環境を作り、効率的な指導システムの構築を目指す。



バーチャル圃場訪問システム概要

「バーチャル圃場訪問」では、新規就農希望者・農業に興味を持つ層をターゲットとして、360°映像をVRゴーグルで視聴することでゆず農園と就農に興味がある人物をつなげることで仮想的なゆず農園の訪問を実現する。「産地風景の体感」「現地ゆず農家との会話」「ゆず栽培の見学」などの仮想体験を通して、北川村におけるゆず栽培の魅力を伝え新規就農を促す。



高知県北川村

通信：ローカル5G/LTE

課題：防除、除草作業の負荷が大きいことにより、栽培規模拡大が難しい

解決方法：Mobile Mover（以下MM）による自動防除、除草作業の受託サービス

実証検証：作業時間短縮 手散布 → **MM作業 = 慣行手散布 × 88%!!! (平坦地)**



慣行手散布



自動防除



遠隔監視センター



草刈りWork

SmartVillageLabo@和泉

和泉市アグリセンター（大阪府）超低コスト栽培に挑戦



通信：建屋内固定回線

+

WiFiルーター

ハウス内

- ✓ エネルギー投入量を抑制
- ✓ 縦置きで定植数増
- ✓



Smart Village Labo@菊川

Laboのテーマ：労働力確保
→ロボット含め自動栽培化

通信：スターリンク+WiFiルーター

MOBILE
MOVER



菊川市神尾

●コールドチェーン
中小の生産者で冷蔵庫や加工場を共有



- 小売
- レストラン
- 防災



●自動化/軽労化



丹野簡易郵便局前

●企業と
共同開発



- 人材育成
- 福祉



●農業経営で
起業家育成

●農福連携



りんご 長野県安曇野市

通信：LTE

課題：除草剤散布作業時の重労働、個人ごとに散布量が一定でない
解決方法：MMによる自動走行防除
ステータス：来期、サービス開始予定



背負い動噴



自動走行

草ふみロボット

通信：スターリンク+WiFiルーター

課題：「みどりの食料システム戦略※」を実現するための除草作業ロボット化が必須
(※耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%目標)

解決方法：MMによる自動走行雑草踏圧

実証検証：検証段階



雑草ふみふみMM

- ✓ 怪我が多い。
- ✓ 刈り取りは雑草を強くする。

Smart Village Labo

Smart Village OSの場 世界展開へ

- ✓ プラネット視点で連携
- ✓ Labo間で相互に課題解決

